

病院の概要

開設	1959年2月
開設者	株式会社日立製作所
院長名	吉井 慎一
病床数	302床
標榜科	内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科・血液内科・腫瘍内科・糖尿病内科・代謝内科・内分泌内科・心臓内科・感染症内科・老年内科・腎臓内科・小児科・外科・心臓血管外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・放射線治療科・麻酔科・病理診断科・臨床検査科・救急科・アレルギー科・精神科・児童精神科・リウマチ科・リハビリテーション科・歯科口腔外科
医師数	94人
指導医数	31人
研修医数	20人
研修医の主な出身大学	筑波大学、東京医科歯科大学、産業医科大学、新潟大学、山梨大学、琉球大学、弘前大学、慶應義塾大学、長崎大学、福島県立医科大学、神戸大学、千葉大学、鳥取大学、秋田大学、福井大学、東海大学、旭川医科大学、信州大学、久留米大学、山形大学、杏林大学、群馬大学、高知大学、帝京大学
外来患者数	約650人/日
入院患者数	約253人/日



応募資格	2019年3月医師国家試験合格見込者
採用人数	8名
試験日程	2018年8月～9月(詳細未定)
選考方法	面接、小論文
処遇	<ul style="list-style-type: none"> ●給与：1年次(330,000円/月) 2年次(392,000円/月) 3年次(530,000円/月) その他残業手当有り ●賞与：1年次(480,000円/1回) 2年次(610,000円/1回) ※6月、12月に支給 3年次(1,020,000円/1回)

病院の理念

「地域を護る病院」として説明責任を基本とした最新の技術とサービスを提供し患者さんが納得・満足される医療を遂行する。

院長からのメッセージ 吉井 慎一 病院長



当院は302床の中規模の病院ですが、地域完結型急性期病院として「地域を護る病院」をめざしています。職員全員が職責を超えて協働実践するというチーム医療を推進し、医療の質を向上させ、結果的に患者満足・職員満足の充実を図っています。健全な医療は健全な経営の上に成り立つものです。

施設基準としては、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、DPC対象病院、7:1入院基本料、医療機能評価機構認定、ISO9001認証、ISO22301、Pマーク取得病院であり、内科・外科・小児科等の専門医研修施設となっております。

日立製作所の全国に2つある病院の一つであり、各病院間の連携とともに、企業立病院という性格から地域中核病院としての使命の他、産業医活動の精通も可能であり、最先端の医療機器にも早期から携われるという魅力もあります。

診療科としては、循環器内科、消化器内科、リウマチ科、神経内科、呼吸器内科、消化器外科、整形外科、小児科、泌尿器科、等が充実しています。また、救急総合内科、リハビリ科での研修も行えます。産婦人科の研修は、協力病院において臨床研修を行っております。また、フルオーダーリング、電子カルテに移行しており、医療情報の一元化を図っております。

基幹型として当院採用の初期研修医の他、筑波大学・東京医科歯科大学からの初期研修医、後期研修医と一緒に切磋琢磨することが可能であり、302床という小回りの利く研修現場でありながら、他大学の研修医と協働できるという恵まれた環境を提供できます。また、新専門医制度への対応、後期研修医の充実を図っており、当院はもちろん、筑波大学・東京医科歯科大学・VHJ参加病院への研修の道も開かれています。

当院は築50年を経て建物の老朽化が目立っていましたが、2010年7月に増床してリニューアルオープンしました。皆さんは新病院で充実した研修が行えます。新病院では、国が推進しています5疾病6事業の医療計画、特に救急医療・がん診療・小児医療・循環器・糖尿病等の重症疾患医療の充実の他、50床の回復期リハビリ病棟を新設しました。

皆さんと一緒に、施設面、機能面双方とも患者はもちろん医師を含めた職員にも使い勝手の良い快適な新しい病院を構築したいと考えております。是非、日本で、いや世界に誇れるような新しい病院を作ってみませんか。

研修医コメント 山田 修三



当院での初期研修の魅力は大きく3つあります。

1つ目はcommon diseaseを多く経験できることです。当院は約300床の中規模市中病院であり、常陸太田・ひたちなか医療圏の中核を担っているため、ありとあらゆる症例を経験することができます。また、研修プログラムの自由度が高いので、専門性の高い疾患について学びたい場合は、院外研修で大病院での研修を選択することもできます。

2つ目は診療科の垣根が低いことです。当院の医局は部屋毎に区切られておらず、全体で1つの開放的なスペースになっています。いわゆる「研修医室」というものがありません。

よって上級医の先生方とコミュニケーションがとりやすく、症例などに関する相談が非常にしやすい環境になっています。また、他の診療科にコンサルトする場合でも、どの先生も親身に相談に乗ってくださいます。

3つ目は手技を多く経験できることです。当院は1年次で10名程の研修医がいますが、診療科毎に分散しているため、手技の取り合いになることがありません。例えば、消化器内科の研修では第1週から内視鏡を持たせてもらえ、後半では検査の一部始終を上級医の見守りの下で完遂することができます。その他にもCVカテーテル挿入などの手技が回ってくる機会も多く、積極的次第で様々な手技の経験を積むことができます。

是非一度当院に見学いらしてください。一緒に爽やかな研修生活を送りましょう。

研修責任者コメント 山内 孝義 副院長



未来に大きく飛翔する、ひたちなか病院へようこそ！

当院は人口36万人を擁する常陸太田・ひたちなか医療圏唯一の総合病院であり、地域の基幹病院として主に急性期医療、高度専門医療を担っています。1940年にたった1名の医師で診療所として始まった当院も、約70年間その診療機能、教育機能は進化を続け、2010年7月には満を持して高機能病院としてリニューアルオープンし、2011年4月からは筑波大学との社会連携講座も開設して、大学病院並みの専門教育機能も加わりました。臨床研修病院としての歴史も古く、基幹型・協力型合わせて、今まで延べ約200名の初期研修医が当院で研修しています。

最近の進化の過程で、各専門科の診療能力が向上すると共に段々と専門分化が進んで、総合診療的色彩が薄まってきてはいますが、各科の連携が緊密かつ垣根が低い事が当院の文化であることに変わりはありません。オープンな医局で、様々な科の指導医と交流でき、幅広い視点が見えやすくなり、目的意識を持った将来の選択に役立ちます。また、アットホームで自由度が高いです。2、日本で最初にISO9001:2000を取得した病院であり、院内全職種によるカンファレンスを中心としたチーム医療を推進しており、各職種間の連携が良いです。3、筑波大学の社会連携教育研究センターが院内に開設されており、大学病院並みの専門教育が受けられます。4、訪問看護ステーション、健診センターなどを有しており、在宅医療、疾病予防活動などについても研修できます。5、企業立病院であり、産業医活動も学べます。6、自由選択科目があり、院内各科はもとより、筑波大学、東京医科歯科大学でも選択研修可能で、自分で研修計画を立て、将来の専門科選択につなげることができます。7、後期研修に関しては、内科は基幹プログラムを有しています。また、筑波大、東京医科歯科大、VHJ機構加盟病院等とも連携しているので、どの科に進むのであっても、進路には困りません。

当院の研修システムも、激動の中で、時代に対応した進歩を遂げつつあります。しかし、時代を超えて大切な事も、学生実習から初期、後期研修一貫してめざして欲しいことの一つは「コミュニケーションできる医療プロフェッショナル」です。「コミュニケーション」の中核は患者さんの病態を的確に相手に伝えられる能力です。今後の医療をめぐる環境の変化は激しいと思われませんが、しっかり、自分の目でものを見て、そこから論理的に判断する姿勢、自分で主体的に学び取っていく姿勢を身に付け、患者さんや自分自身の問題を解決できる能力を獲得できるように、一緒に勉強して成長しましょう。

研修プログラムの特色

- (1) 総合的な能力が身につくプログラムⅠと、初めからより専門的な志向の強いプログラムがあります。
- (2) 地域の中核病院のため、症例が多く、common diseaseのprimary careに適しています。
- (3) 302床の中規模病院であり、全診療グループの連携が緊密で、専門的医療のみならず、総合診療科的色彩があります。
- (4) 筑波大学附属病院、東京医科歯科大学附属病院などで希望に応じて選択研修ができます。
- (5) 初期研修プログラム終了後の進路としては、当院で引き続き後期研修を行う他、筑波大学附属病院、東京医科歯科大学附属病院の後期レジデントに編入可能です。また、当院の加盟するVHJ機構で後期研修制度を運営しており、全国VHJ機構病院（手稲漢仁会病院、亀田総合病院、洛和会首羽病院、倉敷中央病院など）での相互後期研修も可能です。その他の大学病院、一般病院についても希望に応じて紹介等配慮します。尚、希望者については、初期研修あるいは他病院を含めた全研修終了後に、当院スタッフとして残留する道もあります。

研修スケジュール例

プログラム	年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
プログラム①	1年次	内科						救急	外科			選択科	
	2年次	内科	精神科	麻酔科	地域医療	救急	小児科	選択科					
プログラム②	1年次	選択科						内科				救急	
	2年次	内科	救急	地域医療	選択科								

【備考】 ※ローテーションは順不同

※選択科は内科（選択科として内科を選択した場合、専門科の指定も可能）（1～8ヶ月）、外科（1～8ヶ月）、小児科（1～3ヶ月）、麻酔科（1ヶ月）、整形外科（1～3ヶ月）、泌尿器科（1～3ヶ月）、病理科（1～3ヶ月）、放射線科（診断・治療）（1ヶ月）、耳鼻科（1カ月）、皮膚科（1ヶ月）、筑波大学附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、東京医科大学茨城医療センター、茨城県立中央病院、独立行政法人国立病院機構水戸医療センター、水戸済生会総合病院（全科合計最大3ヶ月まで）、産婦人科（株式会社日立製作所日立総合病院、筑波大学附属病院、土浦協同病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、県立中央病院、東京医科大学茨城医療センターから1ヶ月）、地域関連施設病院（茨城東病院（結核診療）等を定められた期間の範囲内で任意の期間組み合わせで研修。

※精神科は院外での研修です。（栗田病院又は筑波大学附属病院を2Wから1ヶ月）

※地域医療は、母と子の病院（産婦人科経験可能）、株式会社日立製作所多賀総合病院（リハビリテーション）、千代田健康開発事業団付属診療所（有料老人ホーム併設）、大和クリニック、大森医院（24時間在宅医療支援診療所）、ハートクリニック松本（内科系診療所）、サンフラワー東海（介護老人保健施設）、茨城東病院（結核診療経験可能）。当院での在宅診療研修も可能。

研修・認定施設一覧

- ・基幹型臨床研修指定病院
- ・筑波大学附属病院協力型臨床研修病院
- ・東京医科歯科大学医学部附属病院協力型臨床研修病院
- ・日本内科学会認定教育施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会教育関連施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本胸部外科学会認定医関連施設
- ・日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設（呼吸器外科専門医合同委員会 認定修練施設（関連））
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器病学会関連施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・茨城県肝疾患専門医療機関
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本神経学会准教育施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本形成外科学会教育関連施設
- ・日本整形外科学会認定研修施設
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本透視医学会教育関連施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本病態栄養学会栄養管理・NST実施施設
- ・茨城県指定地域リハ・ステーション
- ・日本総合健診医学会優良施設
- ・日本病院会（人間ドック）優良施設
- ・県央スポーツ医学センター
- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医准教育研修施設
- ・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
- ・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設
- ・日本治療学会認定がん医療ネットワークナビゲーター認定研修施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本放射線腫瘍学会認定施設
- ・日本病態栄養学会・日本栄養士会認定がん病態栄養専門管理栄養士研修実地修練施設

女性医師支援コーナー

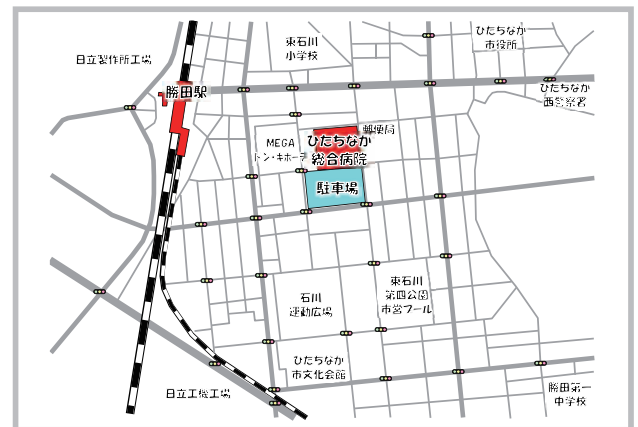
実際に子育てをしながら働いている女性医師もあり、院内保育所（24時間365日病児・病後児保育）の設置や短時間勤務制度もあり、女性医師の働きやすい環境整備に努めております。院内保育所の見学も実施しておりますので、是非当院へお越しください。

専門研修の募集について

内科は各専門科の連携が緊密で、垣根が低く症例が多いのが特徴です。応募時期については、専門医機構の認定に準ずる。

募集診療科	選考方法
内科（新専門医制度対応基幹型プログラム）：専攻医5名	面接、小論文

アクセス



■ JR常磐線勝田駅から徒歩10分

応募問合せ先

株式会社日立製作所
ひたちなか総合病院

〒312-0057 茨城県ひたちなか市石川町20番1

担当者：教育・研修センター 上村・渡辺・星野

TEL：029-354-6841（直通）

FAX：029-354-6842

E-mail：saiyou.nakabyo.op@hitachi.com

URL：http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html

病院見学対応状況

★見学時間…随時（平日） ★対象…4～6年生 ★宿泊…院内施設に宿泊可能 ※場合により近隣宿泊施設を紹介
★問い合わせ先…担当者：教育・研修センター 上村、渡辺、星野 TEL：029-354-6841 E-mail：saiyou.nakabyo.op@hitachi.com